

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年12月20日（月） 午後6時 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子

(教育委員)

教育長職務代理者 加 賀 爪 毅

委 員 中 筋 斉 子

委 員 小 山 栄 子

委 員 左 聡 一 郎

(出席職員職氏名)

部 長 伊 賀 和 彦 副 部 長 上 道 貴 志

教育支援センター長 林 口 泰 之 教育総務課長 栗 田 益 典

学校管理課長 吉 田 健 一 郎 生涯学習課長 齊 藤 政 也

学校教育課長 吉 田 秀 平 博物館管理課長 家 塚 智 子

教育総務課副課長 吉 川 貴 之 教育総務課学校規模適正化推進室長 山 口 立 彦

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長 北 池 頭 子 教育総務課主任 前 田 圭 祐

開 会 (午後6時)

○**開会宣言** 教育長が12月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 報告

- (1) 令和3年12月市議会定例会について
- (2) 文教福祉常任委員会について（令和3年12月16日）
- (3) 令和3年度京都府公立学校優秀教職員表彰 宇治市立学校被表彰者について
- (4) 令和3年度 児童・生徒数推計について
- (5) 源氏物語ミュージアムの正月臨時開館について
- (6) 令和4年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について
- (7) 「要望書」等について
- (8) 宇治市教育委員会後援事業について

以上8件を報告する。

[説明]

(1) 令和3年12月市議会定例会について

[一般質問] 12月9日・10日・13日・14日 質問議員・・・ 16名
(うち教育委員会関係 8名)

① 大河 直幸 議員

○中学校給食について

- ・実施時期と準備
- ・なぜセンター方式に固執するのか
- ・早急な実現

○LGBT支援について

- ・学校での対応

② 鳥居 進 議員

○子どもの環境について

- ・子どもの環境の実態について
- ・HSCについて

③ 坂本 優子 議員

○通学路の安全対策について

- ・通学路安全対策連絡協議会について

・通学路交通安全プログラムについて

④ 岡本 里美 議員

○今後の教育課題について

- ・中学校給食について
- ・コミュニティ・スクールについて
- ・教育ICT化について
- ・教育振興基本計画について

⑤ 池田 輝彦 議員

○教育課題について

- ・タブレット環境について
- ・いじめ問題について
- ・スクールカウンセラーについて
- ・コミュニティ・スクールについて

⑥ 徳永 未来 議員

○生理の貧困について

⑦ 浅井 厚徳 議員

○市長の今後の市政運営について

- ・前市長からの継続事業案件
- ・西小倉小中一貫校整備と小学校用地の跡地活用の考え方

⑧ 宮本 繁夫 議員

○学校統廃合と地域コミュニティについて

- ・学校と地域コミュニティについて
- ・小中一貫校のコンセプトについて

(2) 文教福祉常任委員会について (令和3年12月16日)

① 請願第3-2号 教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

参考人質疑については、徳永委員からコロナ禍での子ども達への影響、角谷委員からは教育格差とは何を指すのか、鳥居委員からはコロナ禍でも学校で良かった点、苦勞した点について、宮本委員からは少人数の加配について、堀委員からは少人数の請願は良いが、学力向上に関する請願が無いことについて等があった。

当局への質疑として、徳永委員から少人数に対する考えについて、宮本委員からは実際35人を超えている学級は何学級あるのかという質問があった。賛成討論が徳永委員からあり、採決の結果不採択となった。

② 議案第87号 宇治市総合野外活動センターの管理に係る指定管理者を指定するについて

選定委員会で公益財団法人宇治市野外活動センターが選定されたことについて説明した。

質問として、宮本委員から応募が一者だけであったことについて、角谷委員からも応募が一者だけであったことについて、堀委員からは交通の便が悪いことから、バスを走らせる必要があるのではないかと等があり、全会一致で採択された。

③ 報告第33号 宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について

質問について、徳永委員から教育委員の活動について、学び支援員について、公民館について、角谷委員からはコロナ禍での学力への影響について等があった。

④ 通学路における合同点検の実施について

質問について、徳永委員から日程について、警戒強化について、宮本委員からは危険箇所について等があった。

⑤ 請願第3-3号 誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願

教育委員会に関する質疑はなかった。

(3) 令和3年度京都府公立学校優秀教職員表彰 宇治市立学校被表彰者について

本制度は平成20年度に創設され、合計49名受賞している。今年度は一般教職員部門で宇治小学校教諭の山上裕子、宇治中学校教諭の小原祐貴の2名が受賞した。表彰式は令和3年11月18日に京都産業大学むすびわざ館で実施される。府全体の被表彰者は47名4団体である。

[委員] 受賞者の年齢層はどうか。

[事務局] 昨年度から20歳代の若手教職員部門が創設され、宇治市でも受賞者がいたが、今年度は30歳代と40歳代で中堅の教職員が受賞された。

(4) 令和3年度 児童・生徒数推計について

本推計は、令和3年5月1日時点の児童生徒数及び0歳から5歳の乳幼児の人口を基にして、現在の0歳児が小学校1年生になる令和9年度までの児童生徒数を推計したものである。また、教室数については、5月1日時点の教室数を記載している。1ページの小学校児童数推計表は、令和9年度までの学校別の学級数と児童生徒数である。小学校児童数推計表については、学校名、令和3年5月1日現在の数値、令和4年から令和9年までの推計となっており、令和3年5月1日現在の列に「実C」、「C」、「児童数」と並んでいるが、真ん中の「C」は法令に基づき段階的に35人学級を編制した時の理論値である。それに対して「実C」は少人数学級を編制したものも含む、今年度の実際の学級数を掲載している。なお、特別支援学級については、学級数、児童・生徒数ともに各校の下段に括弧書きで掲載しており、その数は全体の内数となっている。また、

この特別支援学級の児童・生徒数は、小学校では今年度の数値をそのまま推移させ、中学校では小学校の在籍人数を反映させたものである。中学校生徒数推計表についても、小学校と同じ構成になっている。3ページ以降の各学校の学年別の推計表では、5人以内の人数変動で学級数が増減する学年欄に白丸と黒丸を記している。白丸は5人以内の児童生徒数減で学級数が減少すること、黒丸は5人以内の児童生徒数増で学級数が増加することを表している。令和9年までの推計で増加傾向を示している学校は、小学校では、神明のみで、中学校はなく、今後も全体的に少子化の傾向が続くものと考えている。

[委員] 西小倉の小中一貫校は令和8年開校予定となっているが、現状の学校のままで推計しているということか。その場合、再編対象の3小1中の数値を足し合わせたら良いか。

[事務局] 現状の学校で推計している。また、令和8年度時点で北小倉小学校出身の現北宇治中学校に通っている2、3年生は引き続き北宇治中学校に通う予定なので、単純に3小1中分が小中一貫校の児童生徒数にはならない。

(5) 源氏物語ミュージアムの正月臨時開館について

正月臨時開館は、本市の観光振興及び地域の経済効果に寄与することと、入館者数の確保を目的に実施してきた。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、正月臨時開館の実施を取りやめた。今年度は、令和4年1月2日と3日の2日間正月臨時開館を実施する。通常の開館時間は午前9時のところ、臨時開館では午前10時から午後5時までとする。展示ゾーンでは、企画展「ちはやふるかみよ！うじよ！一落語と古典と名所とー」を開催中である。これまでの入館者数については資料裏面にまとめている。

(6) 令和4年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について

令和3年10月21日から11月26日まで募集を行った。学校説明会については、10月21日に授業参観、学校見学、学校説明会を実施した。募集結果については、学校説明会等参加者が5名、校長面接を受けた者が3名、最終応募者が3名となった。令和4年度の在校生数は地元1名、特任18名となる予定である。

[委員] 応募者は全員宇治市内の方か。

[事務局] 全員宇治市在住である。

(7) 「要望書」等について

笠取第二小学校育友会長他から、笠取第二小学校及び校区に関する要望書、京都朝鮮初級学校附属幼稚園他から要望書、うじ未来会派から令和4年度予算要望、自民党宇治市会議員団から令和4年度予算要望書、公明党宇治市会議員団から要望書、日本維

新・京都宇治党から令和4年度宇治市予算編成及び政策要望書が出ている。

[委員] 公明党の要望に関して、図書館のスポンサー制度とはどのようなものか。

[事務局] 例えば企業広告が掲載された雑誌をもらって図書館に配架する。そうすることにより、企業は宣伝になり図書館には図書が増えるということになるものである。

[委員] 日本維新・京都宇治党からの要望の78番について、オゾン発生器に関する記述があるが、コロナ対策ですでに導入されているものはあるか。

[事務局] 昨年度空気清浄機、換気扇を設置しコロナ対策を行っている。また、消毒用のアルコール等の整備を行っている。

(8) 宇治市教育委員会後援事業について

一般社団法人京都府サッカー協会主催の第40回京都招待中学サッカー大会他9件について後援した。

[委員] オミクロン株の流行に伴って、事業の中止等はあるのか

[事務局] 今後の状況に応じて後援はしたものの、事業が実施されないことも考えられる。

○閉会宣言 教育長が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)